

# 瀬戸

## 明治・大正時代の 超越した陶磁の美

愛知県の瀬戸焼と常滑焼、岐阜県的美濃焼、三重県の萬古焼。これらは東海三県で生産される、それぞれに魅力あるやきものです。明治時代にはこれらの輸出が盛んとなって、従来とは異なる技法や装飾も発達しました。瀬戸では伝統ある染付磁器の制作に加え、他産地への上絵付用磁器素地の供給も行います。常滑では鉄分を含む土を赤く発色させる「朱泥」の陶器に、立体的な装飾を貼り付けて輸出しました。瀬戸と同視されがちだった美濃では「美濃焼」というアイデンティティが生まれ、アール・ヌーヴォーの流行を受けた優美な釉下彩の技法も花開きます。萬古焼は灰色の陶器に色鮮やかな釉薬や化粧土をまといわせ、四日市港を活用して販路を海外へ広げたのです。本企画展では明治・大正時代を中心に、瀬戸・美濃・萬古・常滑で発展した特色ある美の競演をお楽しみいただきます。

# 萬古



〈萬古焼〉  
兎置物(明治時代)



〈萬古焼〉  
青釉上絵花図輪花鉢  
森有節  
(明治時代前期~中期)



〈瀬戸焼〉  
染付金彩  
磁胎七宝花鳥図花瓶  
初代 川本樹吉  
(明治時代前期)

# 常滑



〈常滑焼〉  
朱泥盛上草花図花瓶  
四代 伊奈長三  
(明治時代後期)



〈常滑焼〉  
朱泥雲鶴図花瓶  
二代 杉江寿山(明治時代中期)



〈西浦焼〉  
釉下彩松鶴図花瓶  
五代 西浦圓治(明治時代後期)



〈美濃焼〉  
染付牡丹木蓮図水指  
加藤五輔(明治時代前期)

# 美濃

### 関連イベント

#### 作陶体験講座「ほほ笑みのお地藏さんづくり」

土の風合いが心なごむ、かわいらしいお地藏さんを制作するワークショップです。

- ◎日時: 2023年11月26日(日) 13:30~15:00
- ◎講師: 小池 正氏(常滑焼 陶人形作家) ◎定員: 20名(要事前申込)
- ◎申込方法: 10月27日(金)よりお電話にて先着順(一般に先立ち、パスポート会員の先行受付あり)
- ◎参加費: 一般3,800円(材料費・焼成費・入館料込み)、パスポート会員2,500円(材料費・焼成費込み)



小池 正氏

### ギャラリートーク

#### 当館学芸員による作品解説

11月4日(土)、11月18日(土)、12月2日(土)、  
12月16日(土)、1月6日(土)、1月20日(土)

- ◎場所: 美術館展示室
- ◎時間: 13:30より1時間程度
- \*事前申込不要、要入館料



年間パスポート会員募集中!  
年会費4,000円(更新3,000円)

\*各イベントの詳細につきましてはお問い合わせください。

公益財団法人  
**横山美術館**  
Yokoyama Art Museum

〒461-0004 名古屋市東区葵 1-1-21  
TEL.052-931-0006 FAX.052-931-0008  
<https://www.yokoyama-art-museum.or.jp>

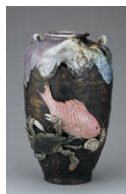


### 次回企画展

「奇想の輸出陶磁器  
隅田焼の世界  
—SUMIDA WORLD—」展(仮)  
2024年2月9日(金)~  
5月12日(日)

### 【交通のご案内】

名古屋市営地下鉄東山線  
「新栄町」駅(1番出口) 徒歩4分  
名古屋市営地下鉄桜通線  
「高岳」駅(3番出口) 徒歩4分  
\*専用の駐車場はございません。お車でのご来場の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。



100円割引  
本企画展開催中、この割引券を提示する場合は、有効期限(2024年12月20日)までご利用ください。